

オオカワヂシャ

基本・侵入情報

参考資料リスト

基本情報	
和名	オオカワヂシャ, オオカワヂサ
分類群	維管束植物 双子葉・合弁花類 ゴマノハグサ科 (Scrophulariaceae, Scrophulariales, Magnoliopsida, Magnoliophyta)
学名	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>
英名等	Water speedwell
自然分布	ヨーロッパ～アジア北部
形態	<p>多年草。全体が無毛。地中を横走する根茎から茎を直立し、高さ1mほどになる。葉は長楕円形～披針形、へりに細かい鋸歯があるが不明瞭で全縁のようにも見える。無柄で対生。茎上部の葉では基部が心臟形で茎を抱く。花期に葉腋に穂状花序を出し、径5mmほどの淡紫色～白色の4深裂した花を多数つける。果実は球形、先端が凹み、長さ3mmほどの渦中が残る。果柄は上を向く。染色体数$2n=36$等。</p> <p>茎上部に腺毛のあるものをヒメカワヂシャ <i>V. a. f. anagallisformis</i> という。</p> <p>鋸歯が不明瞭で全縁に近いこと、花が鮮やかな青紫色であることなどで、在来種カワヂシャと区別可能。</p>
生息環境	水路、河川、湿地の水際 温度選好性: 温帯～暖温帯
繁殖生態	繁殖期: 4～9月に開花 根茎で栄養繁殖も旺盛に行う。
生態的特性	日当たりの良い水辺。
クリックすると拡大画像が表示されます	
	
侵入情報	
国内移入分布	岩手、秋田、山形、石川を除く本州全都府県、徳島、愛媛、大分、佐賀の各県。
移入元	
侵入経路	不明
侵入年代	不明。国内の最初の記録は1867年の神奈川県。
影響	在来種との競合、遺伝的攪乱等 影響を受ける在来生物: 在来種のカワヂシャ <i>V. undulata</i> と交雑。西日本では雑種ホナガカワヂシャ <i>V. × myriantha</i> に置き換わりつつある。
法的扱い	外来生物法で特定外来生物に2次指定された。移入規制種(佐賀県 環境の保全と創造に関する条例)
防除方法	抜き取り、洪水攪乱体制の復元等
問題点等	
海外移入分布	南北アメリカ、アフリカ、オーストラリア
 <p>琉球列島 小笠原諸島</p> <p>● 在来分布 ● 移入・在来両方 ● 移入分布 ● 在来かどうか不明</p> <p>※必ずしも色が塗られた地域全体に分布するわけではありません</p>	

引用元：国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース

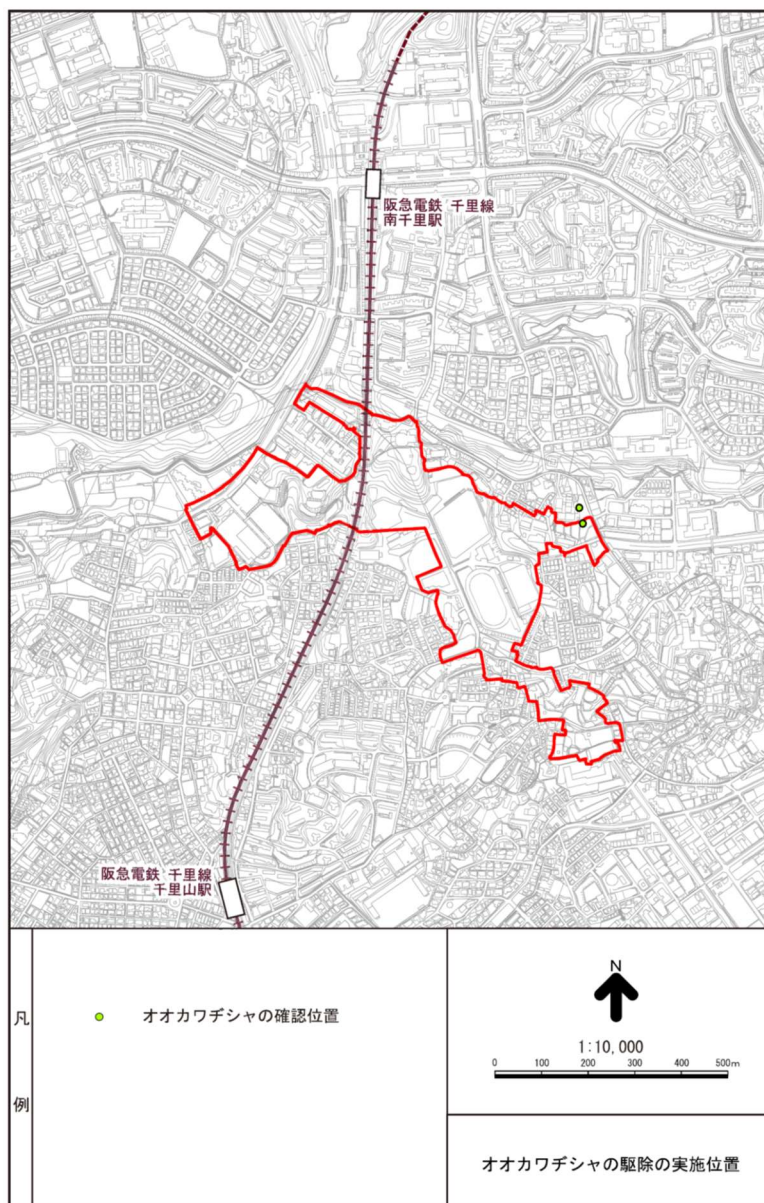
URL：<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/81130.html>

防除について

影響を軽減するために、令和4年(2022年)5月17日(火)に、佐井寺西土地地区面整理事業区域内及び付近で防除します。天候の加減で延期することがあります。

なお、駆除した個体はごみ袋に入れ拡散防止を図り、ごみ処理施設等へ持ち込みます。

位置図



お問い合わせ

土木部地域整備推進室

電話番号 06-6831-9697

メール kukakuseiri@city.suita.osaka.jp